

# なな

12月号  
vol. 202

特集

# JobなJ

ジョブ  
なり

第8回 プラモ愛があふれるしごと

「花火」  
梶川 広孝  
(ビッグ・アイアーと工房みすのみぼ)

## 第8回 プラモ愛があふれるしごと

最近は本当に便利な時代になったものである。欲しい物はネットで注文すれば、翌日に自宅に届いてしまう。子どもの誕生日プレゼントのためにオモチャ屋さんを何軒もハシゴして回るお父さんの姿も、過去のものになったのかもしれない。

筆者が小学生の頃、運動会の徒競走で1位を取ると、両親がよくオモチャゲームを買ってくれた。休みの日にオモチャ屋さん連れて行ってくれるのだが、あの店に入った瞬間の何とも言えないワクワク感は今も覚えている。アドレナリンやエンドルフィンがドバドバ出ている感じがしない。筆者は小さい頃からテレビゲーム派であったが、友達にはミニ四駆やプラモデル好きが多かった。そんな子ども

にとってオモチャ屋さんは宝の山。プラモデルが趣味の大人にとったら、変わらず宝の山であり続けていることだろう。

### オモチャ屋さんは宝の山

今回は、子どもにも大人にも



宝の山であるオモチャ屋さん「ホビーうえだ」を取材した。鶴見橋商店街4番街にある。オーナーは長らく別の商売を営んでいたが、プラモデルを中心としたお店を12年前にオープン。店内を見渡すと、軍艦や戦車、戦闘機等のプラモデルがびっしりと並んでいる。筆者はあまり知らないがオーナーにレクチャーしてもらったが、同行の取材スタッフはけっこう詳しいようで、食い入るように目を凝らしていた。



いそがだ。

プラモ作りが得意なのは生まれ持った素質なのだろうか。小学生の頃にミニ四駆が作れず、当時の流行に1ミリもついていけなかった思い出、マジメに頑張った図工で「がんばりましょう」をつけられた記憶しか無い筆者には羨しいかぎり。オーナーは「小さい頃は不器用

ジョブ  
なり

「これが私の仕事也」。  
17,000以上もある日本の仕事のなかから、西成で働く人々の仕事の流儀を学んでみよう。誇りを持って仕事をするってどんなだろう？  
そんな仕事を学べる時間はけっこう少ないのかも。



い。このレンタルスペースはかなり需要が高いようで、空いているスペースはほとんどなかった。「ウチの稼ぎ頭やねん」といたずらっぽく笑うオーナーは同じ趣味を持つ人の気持ちがよくわかるらしい。「邪魔やからフィギュア捨てろ」って嫁さんに詰められる友人は哀愁を漂わせていた。フィギュアの置き場所だけでなく家での居場所まで失う

前に、この素敵なスペースを教えてあげよう。  
このレンタルスペースを利用していている人にはさらにもう一つ特典がある。3カ月に1回実施されている「ホビーっえだ杯」への参加権だ。与えられたテーマに沿って作品を作り、お客さんの投票で最優秀賞を決める。第27回ホビーっえだ杯のテーマは「冬仕様」。一体どんなものがで

きあがるのだろうか。本誌をお届けするときに聞いてみよう。

### プラモ好きを繋ぐ場

店内にボツンと小さな机が一つあった。「コロナ禍の前は子どもが買ったプラモデルをここで組み立てたりしててん。今はちよっと休憩中やな。なるほど、店内にはお菓子コーナーもあった。お菓子を食べながら、友だちやオーナーと「あーでもない、こーでもない」と談笑してプラモデルを作るのは、とても楽しいひとときになろう。趣味を通じた子どもの居場所である。

最後にこの仕事のやりがいを尋ねた。「正直経営はしんどいけど、好きなものに囲まれて仕事するのは幸せやな。自分の城の中に好きなものがたくさんあって、趣味の合うお客さんと話すもの楽しいよ。子どものように笑うオーナーには天職なんだから

うなど感じた。突然の訪問にも関わらず快く取材を受けてくれたオーナーに感謝を申し上げて、今回はここで御開き。

文責：山村裕太



ホビーっえだ  
住 所：西成区鶴見橋2の7の21  
TEL: 06-6866-6335  
営業時間：平日：10時30分～19時  
土日：祝日：14時～19時  
定休日：不定休



やったで」と言うので、努力と根気の賜物なのだろうか。  
「ホビーっえだ」にはプラモデルだけでなくフィギュアもあり、主にバンダイの製品が豊富である。ある世代にはドンピシャのガンダム、いわゆる「萌え系」も「死語?」のプレミアムアームズ・ガールにギルティプリンセスなどなど。ちなみに映画好きの

### みんなの作品を展示

「さわらないでください」と張り紙がされた、様々なジャンルのプラモデルやフィギュアだ。これらは店の売り物ではなく、オーナーが作った展示品でもない。お客さんたちが自分で作ったものを店内展示する、いわゆるレンタルスペースだ。なぜ家ではなくお店に展示するのかと尋ねると、家に置く場所が無かったり、自分が作った作品やコレクションを色々な人に見てもらったためだったりするらしい



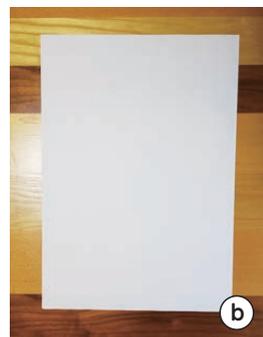


# 楽塾 編7

毎週土曜日開催の楽塾は23年夏に開塾16周年を迎えました。楽塾の理念はあそびを学び、まなびを遊ぶ。新しい学校の冒険。様々な地域や場で多彩な居場所づくりに汗する人々に、参考にしてもらえればと思います。これまでに行った(あそび)を隔月連載で紹介します。



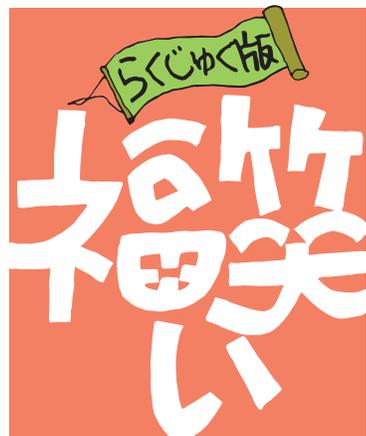
◎ 福笑い台紙完成版  
◎ B4判コピー紙  
◎ 福笑いのアウトライン



## 準備その1

◎は福笑いキャラクターの完成版です。  
◎はキャラクターを描くためB4判コピー紙をタテ置きにして使います。

◎はコピー紙の画面に、福笑いとなる顔のアウトラインのみを大きく描きます(イラストは黒の太マジックか習字用の筆を使います)。顔のアウトラインが完成すると参加者分の数をコピーし、それぞれに配ります。



## 準備その2

◎では、ノッペラボウの顔を構成する目・鼻・口・まゆ毛などを、各参加者に自由に作ってもらいます。この部品は均等などで販売されている色гент紙を使用。各部品が色違いでもOKです。顔の大きさに合わせてユーモラスな、または恐ろしい、あるいは大変可愛いなど、どんな顔の表情でも自由に作画し、それら部品をはさみで切り取り、福笑いの顔のどの位置に置くのかを考えてください。部品の位置はあらかじめ空白の顔の中へ鉛筆で記しておいてもOKです。



◎ 顔の部品づくり



◎ 福笑いの状況

## 目かくしスタート

◎では参加者に配られたアウトライン及び、各自が作った顔の部品を机の上に置き、その位置を確認したのち目かくしをします。ゲームは一人ずつで行います。司会者の「はじめ!」でスタート。他の人たちはこれをオモシロくったり、ヤジツたり、慰めたりと無責任に応援します。一人の持ちゲーム時間を10分までとします。目かくしの選手は顔のどの位置に置けばいいのかを想像しながら、その顔の中に部品を配置していきます。

## 採点

ゲーム回数は2〜3回(参加者数を考慮する)くらいで、ゲーム終了後に他の参加者

の挙手の数で評価点をつけましょう。

えと文・楽塾 佐々木敏明

## 注意と参考点

●ゲームでは目隠しが必要。各自タオルを用意してください。

●「準備その1」では、絵心ある人が福笑いの絵を描きコピーしました。ただ、参加者が同意してくれるなら、コピーではなく各自の福笑いのキャラクターや顔の部品をすべて制作してもらうのもよいでしょう。

●参考編特別バージョン(ジャンボ福笑い(左図))。これは模造紙の全紙(1091mm×788mm)を上記同様タテ置きにし、その大きさに比例した顔のイラストを描き作成しました。同じゲームですが、身体全体を動かしながら楽しめ、イベントでは好評でした。



[沖田一志] ブラック、ブルー、グリーン、イエロー、ピンク、ホワイト… 何の色でしょう? 答えは水素。製造方法で区別されているだけで水素は無色の気体。ホワイト水素が脱炭素の切り札かも。



[笹川勝正] 先日とあるイベントでドローンを初操作。ファミコンで鍛えた腕で簡単だろうと思ったら、上下操作で大混乱。Switchで慣れている子どもの方が上手でした。



[田岡秀朋] 1250億→1850億→2350億の万博は特別な? 2年前の予算から、びた一文上積みのないプロボがある。物価・人件費の上昇は社会情勢の変動だ。公正に取り扱ってくれなきゃ困る。



[谷口円] 年始に「今年やることビンゴ」を作ったルンルンしてたのですが、フタを開けてみれば最初の1〜2ヶ月以降は見えてすらいなまま12月です。今年ももうすぐ終了です。





# おかんのため息

- おかん はあ…。年末やけど、前に話した藤井さんと湯田さんのつづきやで。
- ◆ 息子 ちょっと聞きたいねんけど…。
- なんや？
- ◆ 「サ責」ってどんな仕事なん？
- まあ、察しのええことで。それを話そうと思っとってん。
- ◆ いろんな意味で都合いいね。
- 「サ責」=サービス提供責任者は、在宅介護のケアマネさんとヘルパーさんをつなぐ調整役。ケアマネさんがつくったケアプランを基に「訪問介護計画書」を作んねん。介護の現場と制度や仕組みの両方を知ってなあかん。
- ◆ ほうほう。
- サ責になった湯田さんの最初の担当が藤井さんやあって。前のサ責さんが突然辞めはって、なかなか藤井さんの担当が見つからんかって、湯田さんが「もう、やる！」って担当することになった。
- ◆ ほう。気合入っとなる。
- でも、サ責で担当になってみると、いろいろ大変やったらしい。最初はヘルパーのシフトの見直しから。現状みて、藤井さんがすごく可哀そうになったらしい。ヘルパーさんもガラッと変えながら、これまで担当してたヘルパーさんからいろいろ聞き取ったらしい。なんせ、自分よりもヘルパーさんのほうが藤井さんのこと詳しいし。
- ◆ そら、そうか。
- 湯田さんも藤井さんとのコミュニケーション

- ンでは工夫したって。
- ◆ たとえば、どんな？
- 藤井さん、野菜嫌いいらしいんやけど、体調が悪いから食事改善せなあかん。そこで、毎日ピクルスを作って、藤井さん、ホットドッグが好きやから、パンを買ってきて、キャベツやウィンナーと一緒にピクルスも挟んでケチャップとマスタードかけて、1コずつラップに包んで10個作ったりとか。
- ◆ ほう。
- こんなふうにしていったら体調がめっちゃ良くなってきて、意外と野菜も食べる。「野菜嫌いって情報は何やったんや？」ってなって。それ以来、習慣づいて毎日それを食べるようになったって。
- ◆ ヘルパーさんの仕事になってるな。
- そうやねん。だけど、ヘルパーの現場も十分に知っておかんと、計画書作られへん。湯田さんのところは、サービスの内容とか利用者の体調管理をしっかりサ責が把握するようにしてるんやって。
- ◆ ほう。
- だから、ケアマネが作ったケアプランにも、現場に合っていないことはどんどん注文つけていくってよ。
- ◆ そうやってケアプランに注文つけていくって、ありそうでなかなかないんちゃうかな？
- そうかもな。けど、そのほうがケアマネも本当はありがたいんちゃうかな。
- ◆ ほんまやね。ヘルパーさんの状況を把握するって言っても大変やろ？
- 情報を共有する体制は作ってるって。前にも言ったけど、たくさんさんの情報をすぐに共有できるツールとしては、今のところグループLINEが使いやすいって。
- ◆ そうか。たしかに便利やな。
- そういう運営・管理と情報共有の体制がしっかり整っているから、藤井さんの「看取り、もやれそうやったんやろうね。知らんけど…。

つづらきます。\*本文は関係者各位の許可をとって掲載しています。



10月は運動会。大勢の人たちが見ている前で、園児たちは覚えたダンスを堂々と披露。リレーや玉入れなどもとても白熱！今年もみんなで楽しみました！



「なうわ」「あったでー」「リレー」「ジャンプやー」  
 松之宮集会所は笑い声や元気の声で溢れていた。様々なゲームやポッチャ、元気教室など居場所づくりの取り組み「スマイル」が実施されている。  
 まずはビンゴ大会。全員がビンゴになるまで続けられるとても優しい大会。景品はみんなから贈られる温かい拍手とお菓子。取材で伺ったにもかかわらず早々にビンゴになった私たちにも拍手をいただいた。誰でも馴染みやすいウェルカムな雰囲気を感じた。  
 お次はババ抜き。慣れた手つきでカードを配ってくれる。それにも関わらず、みんなが楽しんでいる様子。景品はみんなから贈られる温かい拍手とお菓子。取材で伺ったにもかかわらず早々にビンゴになった私たちにも拍手をいただいた。誰でも馴染みやすいウェルカムな雰囲気を感じた。  
 参加者のみなさんの感想、「いつもここに来るのが楽しみや」「ここ来たらよう笑うねん」居場所と笑顔を提供するイベントは今後も盛りだくさんだ。

松之宮集会所「スマイル」  
 ① 毎週水曜日13時30分～15時  
 ② 松之宮老人憩の家  
 (鶴見橋3の3の7)

大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

# 近ツ橋

松之宮集会所「スマイル」



【西田吉志】11月に娘たちの熱望でUSJに訪れたが、平日の夜にも関わらず予想をはるかに上回る来場者の数。それもゾンビ・デ・ダンス【Ado/唱】を含めスケールやクオリティの高さに納得したよ。



【安田拓也】\*やりたいコトがない、ってどういうことだろう。本当かな？やりたいコトを「諦めた」のでは？もしそうなら実際にやってみて、自分の感性にたずねればいい。いっしょにしてくれる誰かがいればずっと続けられる。



【福井龍磨】月琴という中国の民族楽器を買った。名前の通り、満月のように円く可愛い形をしている。他にもモンゴルの馬頭琴やベトナムのダン・トウ、南欧のリュートなど、魅力的な民族楽器は数多い。

# 葉っぱの吐見といき

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとお喋りを聞いてください。



## 「白粉花の葉っぱ」の巻おしろいばな

春のわたし。  
生まれたての小さな葉っぱ。  
花風のおいにお包まれた。  
夏のわたし。  
笑顔だらけの元気な葉っぱ。  
緑風のおいにお包まれた。  
秋のわたし。  
ものおもいにふける葉っぱ。  
野分のおいにお包まれた。  
冬のわたし。  
たくましく生きる葉っぱ。  
木枯らしのおいにお包まれた。  
春夏秋冬 生きるわたし。  
あなたの側にいるわたし。

赤井まゆみ

### 白粉花のこと

オシロイバナ科の多年草または一年草。南アメリカ原産で江戸時代ごろ日本に渡来した。花言葉は「乙女のしなやかさ」「清浄」

# い湯かげん

## 来年には久しぶりの接戦の選挙がある

解散総選挙はだいぶ先だろうが、長いあいだ無風選挙だった西成区が属する衆院大阪3区(定数1)はデッドヒートになると予想される。そのせいかわり、候補予定者のポスターも、「西成が変われば大阪が変わる」とか「ええ街、西成をもっと」などと、いつもと違って「西成」を争点にしてくれそうな気配だ。そこで、へそ曲がりなボクは、名乗りあげた有力候補に、少々意地悪な質問を試してみた。

まず、「西成が変われば」の候補に、「大阪が変わった」シンボルの一つが「うめきた再開発」である。その高層分譲マンションの最上階はなんと25億円。そんなニュースを観て、たまげた。格差のシンボルではないか。辛坊治郎さんがTVで、国民の「所得中央値」は30年前と比べて100万円以上も下がっていると言っていた。他方で、2022年の民間企業の「平均給与」は過去最高の458万円になったという報道もある。

辛坊さんは「全体の賃金は落ちてるのに、すごく稼ぐわずかな人が平均賃金だけを引き上げている。日本はとんでもない格差社会に突入しつつある」と解説していた。「これが政治の不作為でなくてなんなんだ」「大阪が変わるとはこういうことか」と、辛坊さんと共にボクもこちらの候補に問うてみたい。

もう一つ、「大阪が変わる」一大イベントと目される大阪万博の建設費が、当初の約2倍の2350億円にまで跳ね上がっている。これじゃ、大阪は「逆行」してしまう。「カジノだけでも撤退」もありえるのでは。

さて、「西成をもっと」の候補にも。平均給与のカラクリと似ているのが、平均寿命と「平均余命」。いや日本人の平均寿命は81歳を超えた(西成区は、全国の自治体の最下位で、8歳も短命だ)。寿命が伸びるのはいいことなんだが、2022年の平均余命は70歳の男性で15.5年、女性で19.9年である。さてさて、厚生年金組の少ない「年金弱者」の西成区民はこの余命の生活費を確保できるか。ご同輩は最近、この話で持ち切りだ。西成区は寿命だけでなく余命でも格差に晒される。「西成をもっと」の候補は、こんな格差を野放しにした与党の一員であり続けるのだろうか、政権を離れる限界線はどこか、問うてみたい。

あれあれ、ボクの意見は「(名誉ある)撤退」要求ではないかと、両方から嫌われそうだ。何も、ボクは、



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

[若松司]書くこと、読むこと、街のこと、世代のこと、味のこと、政治のこと、死のこと、書くこと、空白、懐かしいこと。この一年につづやいたこと。来年は何をつづやこうか。

再開発や万博をやめよとか、与党を離脱せよなんて、大それたことを言っているのではない。ただ、政治の公約や政策では、前向くだけじゃなくて、お尻を見せる、この線を越えたら決断するという「わかりやすさ」や「党にも申す時もある」という信条も重要だと言いたいのだ。

政党候補の二人だけじゃなく他の候補にも注目したい。一人区といえども、次をめざしたり比例区票を上積みしたりすることも大切だからだ。

唐突な選挙ネタだが、選挙運動に渦中にある人にはボクの戯言は通じるはず。それほどの接戦、舌戦になると予想する。

[山村裕太]ジョギングが1年以上続いて「健康的だね」と言われたりしますが、ジョギング終わりの一服がたまたま美味しいです。健康と不健康を両立したい人にオススメ。

11月5日、京セラドームに六甲おろしが颯爽と鳴り響いた。阪神タイガースが38年ぶりの「アレのアレ」を成し遂げた。38年前の阪神は「ベース・掛布・岡田」と野球に詳しくなくても耳にしたクリーンアップが主力の打撃のチームだった。

今年の阪神は「守り勝つ野球」をテーマに掲げ、豊富な投手陣に鉄壁の守備で失点を防ぎ、攻撃面では四球数が大幅に増加、チャンスを着実に得点につなげた。選手ひとりひとりが役割を果たす全員野球の賜物だ。

最下位が定位置だった暗黒時代を乗り越え、03年と05年に「アレ」を果たしたが、日本一には届かなかった。そして今年、ようやく掴んだ2度目の栄光。弱い時も強い時も熱心に応援してきたファンがスタンドで嬉し涙を流している。この瞬間をどれほど待ち望んでいたことか。

阪神優勝からは多くの勇気もらった。にしなり隣保館ゆ〜とあいでもその勇気を引き継いで様々な取り組みに挑戦したい。

(寺本良弘)

# 皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



地域の縁を心でつなぐ



# 心の時間

「お仏壇の花は仏様の為のお供えなのに、なぜ私たちの方へ向けるのですか？」と尋ねられたので、「仏様はお供えのきれいな花を独り占めしません。私たちに見せて下さる。だからこちらに向けるのが正しいのです」と答えました。

かつて老僧から「仏様への供養は、自分の徳となるのだから供養を惜しんだらあかん」と教

わりました。これは「情けは人の為ならず」即ち「人に情けをかけると、その情けは自分に返ってくるから惜しみなく情けをかけよ」という日本人の美德でした。しかし、昨今この諺の意味を「情けをかける」と自立を妨げ、その人の為になるとも言えない」という誤解が多いと知り、「情け」の薄れた世の中になったことを憂えています。

「人情のかけらもないものは、どんなに理屈が通っても正義やおまへん(宮本輝)という言葉も心に刻んできませんでした。争いごとは「正義」を掲げますが「情け」はかけません。かつての日本人の「情け」という美德は、世界中の紛争解決の糸口になるように思います。

松向寺 通法

## ココドコ

ココはどこ？  
わたしはぜんぜん？  
編集部が厳選した  
「にしなり」100景  
大公開！

今回はココドコ初の屋内からの出題です！ココには福祉の歴史年表や歴史パネルが展示されています。真ん中に写っているのは、大阪市立北市民館の模型。ココがドコだか答えを知りたい人は、ゆ〜とあいの受付までお問い合わせください！

北津守3丁目の、北津守第三住宅の公園でした！  
【先月号の答え】ユニークな遊具は大人でも心惹かれますし、写真にも映えますね。



2023年10月撮影

## ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 12月号 (vol.202)  
発行日:2023年12月1日(創刊日:2007年1月1日)  
発行:株式会社ナイス  
住所:大阪市西成区長橋3-6-33  
電話:06-6563-1150  
E-mail:info@nice.ne.jp  
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:西田吉志  
編集:沖田一志、笹川勝正、田岡秀朋、福井龍磨、安田拓也、山村裕太、若松司(あいいうえお願)  
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

(株)ナイス  
ホームページ

